

東芝大株主の3D、買収提案の募集など求める書簡

2022/4/6 21:14 | 日本経済新聞 電子版



東芝の臨時株主総会ではグループ全体を2分割する会社提案が反対多数で否決された

東芝の大株主でシンガポール拠点の資産運用会社、3Dインベストメント・パートナーズは6日、東芝に対し、買収提案を募ることなどを求める書簡を送付したと発表した。出資の提案と併せて6月に予定される定時株主総会までに募集し、株主に対して「定時総会前の議決権行使の判断材料として、買い手候補からの意向表明書の受領状況を報告すべきだ」とした。

書面ではこのほか、新たな中期経営計画を策定することや、取締役会の構成について株主に意見を求めることを求めた。買収提案の募集に関しては「合理的な価格を提示した有望な買い手候補者に対しては、正式な提案を行うに足る環境を整備し、2次入札の機会を提供すべき」とした。また取締役候補者については「少なくとも株主から推奨された者を複数名選定すべき」と主張した。

東芝は3月24日の臨時株主総会で、グループ全体を2分割する会社提案が反対多数で否決された。臨時総会では3Dも株主提案を出して否決されており、非公開化か出資の受け入れについて積極的に検討し、検討内容や受領した提案の詳細を株主に定期報告するよう求める議案だった。

東芝は「臨時株主総会において示された株主の皆様のご意見を踏まえ、企業価値の向上のため

あらゆる戦略的選択肢の検討を引き続き行っていく」としている。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.